# 巖本金属、2軸破砕機新設

## 複合スクラップ前処理に

### 愛知川工場

鉄スクラップ業者の巖本金属（本社＝京都市南区、巖本博社長）はこのほど、基幹工場の愛知川工場（滋賀県愛荘町）に伊ザトー製の2軸破砕機「ブルーデビル」をI基新設した。給湯器やモーター類、自動販売機などの複合スクラップの前処理に活用し、処理効率や後工程での単一金属の回収率の向上を図る。投資額は2億円。

## 単一金属の回収率向上

導入した設備は、イタリアの環境機械メーカーのザトー（ZATO）が展開する2軸破砕機「ブルーデビルシリーズ」のGF4000II。電動モーター式の600馬力で、破砕室は1750×2165㍉、投入ホッパー容量は7平方㍍。

同工場は、主に廃自動車や解体スクラップなどを処理しているが投入口が狭く、馬力も小さいため、自動販売機のユニットや黒モーターをはじめ、比較的大きな複合物は重機で前処理してから投入する必要があった。

アルミ複合物といった小物、非鉄含有率が高いスクラップを処理しており、大型破砕機以降の下工程での処理効率を引き上げ、大型破砕ラインで処理しきれなかったものなどをより細かく破砕することで銅やアルミなど単一金属の回収率を向上させる。「試験運転では自販機をそのまま破砕処理できており、大型破砕機で通り抜けていた細いワイヤー類も裁断可能になる」（片岡正仁工場長）。



新設した破砕機「ブルーデビル」

そのほかの投資については、年末に重機1基を更新するほか、今後はマテハン機の更新や、大型のガス切り材の入荷が増えていることから大型ラフタークレーン車または門型クレーンの新設を検討する。

同工場は、2029年春の開設を目標にASR（自動車破砕残さ）由来の廃プラスチック再資源化施設の増設計画を進めており、すでに同工場裏手の3万3000平方㍍の土地を取得。建屋レイアウトのほか、破砕機やふるい機、湿式廃プラ選別機といった導入設備の選定も固まってきた。

操業の許認可を得るまで1年以上かかる見通しだが、従来のサーマルリサイクルからマテリアルリサイクルに移行し、同社の基本方針であるブループロジェクト「私たちが頑張れば地球は確実に青くなる」を体現する。

### 事務棟建て替え

巖本金属はこのほど、同工場の事務棟を建て替え、全面リニューアルした。4階建てでエレベーターを完備し、食堂や会議室、多目的ルームなどを完備する。



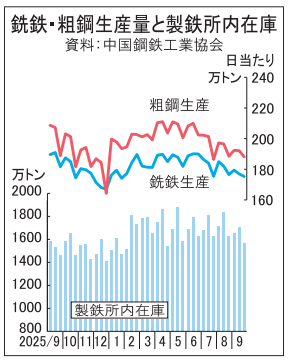
刷新した事務所棟

## 中国鋼材在庫 高位保つ

### 粗鋼減産も需要少なく

中国の鋼材在庫がメーカー・流通ともに高い水準で推移している。主要鉄鋼メーカーの粗鋼生産は8～9月にやや減少の傾向を見せたが、建設中心に需要が生産以上に減少。需給が大きく崩れた状態が長引いたところ、月1000万㌧強の鋼材輸出が続き、鋼材市況は国慶節連休明けの先週に下落した。

中国鋼鉄工業協会会員企業の粗鋼生産は、国慶節連休入り直前の9月下旬に1日当たり188万1000㌧と中旬から2・1%減ったものの前年同期の0・4%減にとどまった。一方で同会員企業の9月末の製鉄所内在庫は前年同期より6・7%、一昨年の同期より9・6%それぞれ増加。市中の鋼材在庫は前年同期比1・3%増、年初より26・8%多く、秋の需要期を迎えたにも関わらず、需給が大幅に緩んでいる。




# 鋼製ラックの販売好調

## ワイテック、長尺保管に最適

ワイテック（本社＝大阪市淀川区、藤井英貴社長）は、主力製品で丸棒や鋼管などの長尺鋼材・重量物を効率的に保管する鋼製ラック「とくとくラック」（特許・意匠登録商品）の販売が好調だ。機能性と安全性を兼ね備えており、ステンレス鋼管や特殊棒鋼を扱う流通を中心に多くの採用実績を持つ。ユーザーからの信頼が厚く、他拠点でも採用するリピーターが増加している。

### つり具クレーンで省人化

とくとくラックは1991年に大手建機メーカー、コマツのクレードル事業室が「コマツBFクレードル」として販売を開始したことが発端となる。95年に同事業室をコマツクレードルとして分社化し、98年にワイテックが事業譲渡される形で事業を継承した。

鋼製ラックを特製つり具付きのクレーン（ダブルフック）で移動させることにより、入庫、荷造り、搬出の一連作業を一人での遠隔操作が可能だ。搬出入時も鋼材の山登り作業や玉掛け作業が不要のため、現場の安全面に大きく貢献する。ダブルフックでの使用を推奨しており、従来のシングルフックによる同様の作業と比較して人員や作業時間は半分程度に削減できる。


ステンレス鋼管・特殊棒鋼流通を中心に採用実績を持つ

ラックを多段積みできるため、フォークリフトなどを使用する平積みに比べて保管効率が大幅に向上する。倉庫の上部空間を有効活用し、下段の材料も取り出しやすく、配置えの負担軽減にもつながる。ラックの積み重ね時に、下段フックが上段ラックをきっちり支え、フック自体は上段ラック内に納まるため、空間を効率的に活用できる。

販売当初から一貫して日本製で、品質の高さも強みとしている。安全率（基準負荷に対する許容負荷の比）はラックで3以上、つり具で5以上に設計されており、95年の阪神・淡路大震災や2011年の東日本大震災、18年の大阪北部地震、24年の能登半島地震のいずれの災害時もユーザーからラックの破損や変形、段崩れといった事例は報告されていないという。

今春からマキノ営業所（滋賀県高島市）を開設し、とくとくラックやつり具の実物サンプルを設置。農業事業も本格的に開始し、多種多様な無農薬野菜を栽培している。藤井社長は「近年は工場の安全対策の重要性がさらに増しており、既存のお客さまの新拠点完成の際にリピートしていただくことが多い。業績は今期も順調に推移しており、引き続き拡販していきたい」と話す。

## 中国・WNEと協業覚書を締結

東京貿易HDグループ会社

東京貿易ホールディングス（本社＝東京都中央区、坪内秀介社長）は13日、同社グループ会社のTBクローバルテクノロジーズ（TBG、本社＝東京都中央区、高橋政希社長）が、中国オフショアエネルギー設備の大手EPCICであるウィソンニューエナジーズ（WNE）と協業の覚書を締結したと発表した。

今回の覚書に基づいて、両社はWNEが手掛けるFLNG（浮体式LNG生産設備）やクリーンエネルギー分野における浮体式ソリューション、$CO_2$輸送用バージ関連プロジェクトにおいて、新たな価値創出の機会を共同で検討する。

WNEが有する浮体式ソリューション分野における専門知識と、TBGが培ってきたマリンローディング技術に関する豊富な経験を組み合わせることで、変化するオフショアエネルギー市場のニーズに応える新たな可能性を追求し、革新的なソリューションの提供を目指す。

## スチールテック

## ファミリーデー 家族に感謝

### 最高の月間売上高達成

スチールテック（本社＝愛知県大府市、出口弘親社長）は10日、従業員やその家族ら約60人が参加し、「ファミリーデー」を開催した。本年で10回目の開催で、バーベキューや各種イベントなどを催した。

ファミリーデーは20


出口社長

15年からコロナ禍の期間を除き毎年開催している。出口社長は開催に先立ち、ファミリーデーを開催する意義について記者らに語り「顧客に満足してもらうためには、まずは社員と社員を支えてくれるご家族の満足度を高めていく必要がある」と強調した。


出口理輝取締役

バーベキュー開始前には出口社長が「先月は過去最高の月間売上高を達成した。この勢いで全体でも過去最高を目指していこう」と力強くあいさつ。

続いて、本年1月に取締役に就任した出口理輝取締役営業部長が乾杯の音頭を取り「過去最高の月間売上高を得るための努力は本当に大変だったと思うが、それが実現できたのは今日来ていただいたご家族のおかげだ」と力強く語った。

参加した社員とその家族はバーベキューやビンゴ大会、フリーストロー大会を楽しみ、笑い声の絶えない1日となった。


60人が参加した

## 大阪メチャハピー祭

## 1200人が舞い踊る

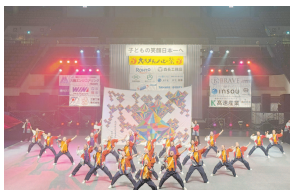
### ソーラン・よさこい・チア

NPO法人のオー・エイチ・ピーが主催する「大阪メチャハピー祭『本祭』」（大阪府、大阪市など後援、JFEスチールなど協賛）が12日、大阪城ホールなどで開かれた。

日本全国から集まった1～85歳の男女計約1200人が出演したほか、鉄鋼業界からも多くの関係者が応援に駆け付けた。

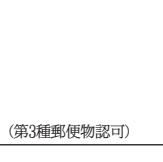
会場は大阪城ホール、ツイン21、ラブリータウン古川橋の計3カ所。大阪城ホールでの開催は4年連続となる。東京都・福岡県から集まった1～85歳の男女計約1200人、計41チームがソーラン節やよさこい、チアリーディング、創作ダンスなどさまざまな踊りを繰り広げた。

ゲストにはものまねタレントであるマイケルジャクトンがスペシャルショーに加え、大阪府警特殊詐欺撲滅の広報活動を行ったほか、大阪府公式マスコットキャラクター・もずやんが参加する「めっちゃWAKUWAKUダンス」も盛り上がりを見せた。


大阪城ホールの様子㊤、ツイン21にも多くの観客が訪れた



## アングル



## 若手社員に新しい経験

「昨年10月に『新規ビジネスタスクフォース』を結成して1年が経った。新しい経験を通して若手社員に刺激を起こし、会社も成長させていきたい」と話すのは、サミットスチール（大阪市中央区）の溝田憲宏社長。

▽…新規ビジネスタスクフォースは、新規収益の積み上げによる増収と、若手中堅社員の視野拡大、ボトムアップで忌憚のない提案により新たな価値創造を図ることを目的に結成した。メンバーは大阪、東京、滋賀、名古屋、福崎の5営業所から選出された30代前半の営業職が中心で、周囲の社員を巻き込みながら組織横断で活動を行う。

▽…第1弾の活動として、GXスチールの定尺在庫販売を7月から開始し軌道に乗っている。「若手が自分ごととして仕事をしてくれるのがうれしい。周囲への刺激となっている」と溝田社長。

▽…他にも新規事業の挑戦に向けて、従来のコイルセンターに捉われない自由な発想で新たなビジネスの種を模索中。「ものにならなくても、いろいろ模索することで視野が広がり次のビジネスチャンスにつながる。若手にどんどん世界を広げてもらいたい」（菅）

## 賛助会員との交流会を開催

全特協名古屋

全日本特殊鋼流通協会名古屋支部は9日、名古屋市中区の東京第一ホテル錦で2026年度「賛助会員との交流会」を開催した。当日はメーカー、商社、流通から約50人が参加し交流を深めた。

冒頭、樋田浩三支部長（三悦社長）は、出席者へ日頃の感謝を述べつつ「当地区の特殊鋼業界は、自動車や産業機械、工作機械などの荷動きが底堅い一方、店売り市場は底打ち感が鮮明なものの本調子には至っていない。諸コストの上昇が顕著な中、製品価格も先高基調で推移しており、ユーザーへの理解促進などの活動に励みたい」とあいさつし、続いて事業報告が行われた。

樋田支部長




山特鋼の寺元支店長

懇親会では、山陽特殊製鋼の寺元啓二・名古屋支店長が「特殊鋼市場については、半導体関連向けステンレスが高水準にあり、自動車メーカーの需要も安定している。春先以降は建設機械や工作機械も回復傾向で、われわれ専業メーカーの繁忙感は強まっている。当社は来年4月、日本製鉄との合併が決定している。今後も高品質な特殊鋼製品の供給に尽力し、特殊鋼業界の発展に貢献していくので、引き続き協力をお願いしたい」と話し、乾杯の発声を行った。


松岳副会長

中締めでは、全日本特殊鋼流通協会副会長で中日本ブロック長の松岳大樹氏（トーキン社長）が、全日本特殊鋼流通協会で発足した碓井達郎会長（碓井鋼材社長）による新体制への協力を呼びかけつつ「気付けば今年も残り3カ月程度。工作機械などでは中国の受注などが増加している様子だが、コストダウンニーズの高まりなど、環境は変化している点には注意する必要がある。ぜひ今後とも、全日本特殊鋼流通協会の行事に参加していただき、多くの意見を頂戴したい」と話し、一本締めで散会した。

## 情報開示評価

### 日本冶金工業が好事例に選定

日本冶金工業はこのほど、日本証券アナリスト協会の2026年度ディスクロージャー好事例に選定された。ESGを経営の中心に据えている点などが評価された。

同協会による評価ガイドラインのうち、経営理念の明確化や重要課題の特定などの「経営陣のIR姿勢、IR部門の機能、IRの基本スタンス」と、ESGが事業戦略と密接に結び付き、定量目標が明確な「ESGに関連する情報の開示」の二つが評価された。

今後も投資家に対する事業内容や成長戦略への理解を目的に、情報開示の拡充に努める。

## スイスでごみ焼却発電更新受注

カナデビアインバ

カナデビアはこのほど、同社の100%子会社で、ごみ焼却発電プラントや再生可能エネルギー関連設備の事業開発や設計、建設、保守・運営を手掛けるカナデビアイノバ（スイス）が、スイス・ジュネーブ州の電力やガス、水道などを担う公益事業会社であるサービス・インダストリー・ド・ジュネーブから、ジュネーブ近郊エール・ラ・ヴィルに所在するごみ焼却発電プラント「シェヌヴィエ」の更新工事を受注したと発表した。

同プロジェクトは、1993年に運転を開始し、長年にわたりジュネーブ州の廃棄物処理とエネルギー利用を支えてきた既存施設を更新する。新施設の焼却設備は2系列あり、年間約16万㌧の廃棄物を処理する能力を有するとともに、回収した熱エネルギーは発電のほか、同州の地域熱供給に活用される。地域熱供給量は約30㍋㍗熱、運転開始時期が2031年（予定）としている。

## 熱延コイル販価

### 10㌦引き上げ

米ニューコア

米鉄鋼大手のニューコアは12日、今週のスポット市場向け熱延コイル販売のベース価格（CSP）を発表し、ネットトン当たり1240㌦（約19万600円）と前週から10㌦引き上げた。値上げは12週連続。

一方、JFEスチールとの合弁のカリフォルニア・スチール・インダストリーズ（CSI）は15㌦引き上げ、同1305㌦とした。ニューコアとの価格差は同65㌦に拡大した。

## 鉄連通商情報

### GO対象のSG調査で暫定措置

欧州委員会

日本鉄鋼連盟がまとめた通商情報によると、欧州委員会は9月18日、方向性電磁鋼板（GO）を対象としたSG調査で暫定措置を発動すると官報公示した。

同措置により9月25日から2027年2月26日までの155日間、関税数量割当と最低輸入価格が適用され、輸入価格が最低輸入価格を下回る場合にはその差額が暫定SG税として徴収される。

ホームページ制作　産業新聞社 IT事業局はホームページを廉価で制作いたします。
売りたい商品があるのに方法がわからない
新規事業で、新しい商品を宣伝したい
求人をもっと効率的に行いたい
営業地域を拡大したい
パンフレットをホームページ化したい
ホームページをリニューアルしたい
ホームページを制作しましょう!
ホームページは会社の顔!!
新規立ち上げ・リニューアル等
企画提案から制作まで、一貫してサポートいたします。
ホームページの制作は、
産業新聞社IT事業局にお任せください。
GO! GLOBAL
IT事業局には
業界ホームページを制作した
実績があります
㈱樋口常三郎商店　三和故銅㈱　㈱神明工業
お問い合わせ先　◇産業新聞社 IT事業局　TEL:06-7733-7050　FAX:06-7733-7070
E-mail:media@sangyo.co.jp

待望の新刊発売!! 最新改訂38版
10年ぶりにリニューアル 業界のロングセラー!!
最新実用 鉄鋼重量便覧
鉄鋼マン必携のハンドブック　イベント、ご贈答用に最適!!
弊社HPからのご購入はこちら
● 日本製鉄グループ製品・会社名に対応
● 価格:2,750円(税込・送料実費)
● サイズ(縦18・5cm、横13cm)
● 上製本・布クロス表紙
● ご注文50冊以上には表紙に社名など金箔押し致します
注文受付中
Amazonでのご購入は
こちらで提供中 amazon
◎お申し込み先 産業新聞社 東京本社販売部 フリーダイヤル 0120-300391 FAX(03)5566-8185
大阪本社販売部 TEL(06)7733-7001 FAX(06)7733-7033

株式会社 船元建設工業
＼解体船、売却しませんか？／
船舶 高価買取!
銅船　台船　曳船　漁船　作業船　貨物船　など
船舶の売却をご検討の際は、ぜひ一度ご相談ください。
船舶の買取から解体・スクラップ処理まで一貫対応いたします。
☑ 査定無料
☑ 全国対応
☑ 解体証明書発行
〒808-0109 北九州市若松区 南二島五丁目5番1号
TEL 093-791-2133
E-mail funamoto817@herb.ocn.ne.jp
https://funamoto-kk.co.jp/
スクラップ事業 | 船舶解体事業 | 建物解体事業 | 不動産事業